

要 旨

試験委託者

環境省

表 題

Nonylphenol のヒメダカ (*Oryzias latipes*) に対する急性毒性試験

試験番号

E F A 0 0 0 0 4

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No.203 「魚類急性毒性試験」 (1992 年) に準拠して実施した。

- 1) 被験物質： Nonylphenol
- 2) 暴露方式： 半止水式 (24 時間毎に試験液の全量を交換)
- 3) 供試生物： ヒメダカ (*Oryzias latipes*)
- 4) 暴露期間： 96 時間
- 5) 試験濃度 (設定値)： 対照区, 助剤対照区 (助剤濃度 ; 10mg/L) , 0.10, 0.18, 0.32, 0.56 および 1.0mg/L (公比 1.8)
- 6) 試験液量： 5L/容器
- 7) 連数： 1 容器/試験区
- 8) 供試生物数： 10 尾/試験区
- 9) 試験温度： 24±1℃
- 10) 照明： 室内光, 16 時間明/8 時間暗
- 11) 分析法： HPLC 法

結 果

- 1) 試験液中の被験物質濃度：試験区において設定値に対して±20%を超える分析結果があったため、以下の値は測定値の幾何平均値で示した。
- 2) 96 時間の半数致死濃度 (LC50)：0.24 mg/L (95%信頼区間：0.13~0.42 mg/L)